

田辺工が男子団体6位

近畿高校体操選手権

第73回近畿高校体操競技選手権大会が15、16日、兵庫県姫路市のウイंक体育館であり、男子団体総合で田辺工業が6位に入賞した。

13校が出場した男子団体は、ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の6種目をチーム4人が演技し、そのうちベスト3の得点を合計した。田辺工業は総合215・100点で、特にゆかと跳馬で高得点を記録した。

田辺工業の団体メンバーは、3年生が松田治樹君、中開紀君、林聖人君、2年生が中心大朗君と石関睦輝君、1年生が上村啓介君の計6人。個人では、松田君が総合14位、平行棒で8位、あん馬と鉄棒で11位。中開紀君はあん馬で

7位、石関君はゆかで11位だった。

田辺工業はこのほどあった県総体で団体優勝し、7月30

日、8月2日に鹿児島市である全国高校総体(インターハイ)の出場を決めている。松田君は「近畿大会の点数はまだまだだったけど内容は悪くなく、いい経験ができた。インターハイに向けてメンバー一人一人の技の難度を上げ、全体の点数を伸ばしたい」と話している。



近畿大会で団体6位に入賞した田辺工業のメンバー